

議事録

会議等の名称	令和7年度 第2回東御市病院等運営協議会	開催日時	令和7年12月5日 (金) 13時～14時40分
		場 所	市民病院2階研修室
主催者(事務局)	東御市民病院	司会者	井出事務長
出席者	○委員 武藤会長、鮎沢副会長、齊藤委員、小林委員、滝澤委員、花岡委員、星山委員、宮下委員、森野委員 ○市（事務局） 花岡市長、掛川副市長、岩橋院長、金井副院長、中沢部長、齋藤診療所長、藤沢助産所長、井出事務長、大塚医療事務部長、渡辺副主幹、酒井主査 ○市（健康福祉部） 寺田健康福祉部長、小宮山健康推進課長、柳澤保健地域医療係長		
	欠席者		
	酒井委員		
討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)	
開会	鮎沢副会長		
会長あいさつ	武藤会長		
市長あいさつ	花岡市長		
報告事項 (1) 令和6年度決算の状況（確定値）について	委員	収入未済額、不納欠損額はそれぞれ何円か。	
	事務局	収入未済額 6,881,501 円、不納欠損額 241,240 円。	

(2) 令和7年度業務の状況について	委員	9月の病床稼働率が低くなっている要因は何か。
	院長	<p>要因の一つとして救急で受け入れた患者さんが少なかったということが考えられる。 受入率が下がったわけではないが、救急要請自体が非常に少なくなってきてている。</p> <p>①要因はわからないが、夏以降、昨年度よりも上小全体の救急の出動が少なくなっている。 ②上小医療圏の救急体制は何年も前から問題視され、地域の救急体制、連携を考える会議が行われてきている。その中で、信州上田医療センターを中心に受入体制、連携体制の仕組みを作っており、その効果が少しずつ出ているのか、信州上田医療センターがある程度、空きを作れるようになり、上田の患者さんが上田市内で対応できるようになったことで、当院に対してはこれまでのような市外からの要請が減っている。</p> <p>稼働率が低くなった要因はそれだけではないと思うが、その点が大きいと捉えている。</p>
	委員	発達外来、ことばの外来はどのような地域からの患者が多いか。
	院長	<p>発達外来は周辺の市町村でも少ないため、他市からも問い合わせが多いが、基本的に東御市内の方を優先している。</p> <p>ことばの外来は全国的にも実施しているところが少ないといため、県内外から来られている。</p>
	委員	分娩件数が少なくなっているが、どのような事情か。下半期で回復する見込みはあるか。
助産所長		今年度、例年になく分娩件数が減ってしまっているが、無痛分娩を実施するところが増えていることが影響していると考えている。
		11月までの分娩件数は21件、12月から3月までの分娩予約は今のところ20件であり、残念ながら、前年度のような追い上げはない。予約は通常、8か月先から入るため、予約が今後増えることもなく、今年度は厳しい状況となっている。

(3) 医学生奨学金制度について	委員	改定によって、制度のハードルを下げられたことは望ましいこと。学生が医師を目指すタイミングは高校で大学を受験するタイミングになってくると思うので、高校3年生などピンポイントのところに深く情報が届くように広報をいただきたい。県内でも同様の制度があるが、そこの制度に漏れてしまった学生さんたちが、使えるようにしていただきたい。受験に夢中になっているとなかなか目が行かないと思うので、うまく広報いただきたい。
	会長	ぜひ委員の方でも周知をいただければ。
市長からの諮詢	市長	諮詢書朗読し、会長へ手渡し（市長退席）
審議事項	委員	データ抽出方法の変更とはどのようなことか。
(1) 東御市病院事業経営強化プランの修正について	事務局	紹介、逆紹介の件数をシステムから抽出する際の方法を昨年変更し、より正確な数値がとれるようにしたため、今回修正させていただいた。
	委員	CT、MRIについて、令和7年度以降の目標数値が令和6年度の実績よりも低くなっているが、どのような理由があるか。
	診療技術部長	常勤整形外科医の退職が令和6年度途中であったため、令和7年度以降は令和6年度の実績よりも低くなる見込みである。今後、整形外科医が入職となつた場合は、再度目標値を修正させていただく。
	会長	「諮詢された修正については、妥当である」と答申したいがよろしいか。（全委員了承） 事務局へ答申書作成を指示 →（事務局答申書作成） →（全委員了承）
答申	会長	答申書朗読し、副市長へ手渡し
	副市長	病院を取り巻く状況は諸物価の高騰や人件費の増など大変厳しい状況。当病院が果たすべき役割を認識したうえで経営強化プランに基づき、病院職員一丸となって努力してまいります。
その他		
閉会	副会長	